

(図上部の文字)

千歳一遇は

ものかは

御覧の

かたじけなきは

みちとせの

ひにあいにたる

思ひを

桃仰ぐ

猿や

山伏

野にふして

九世 三升

杖笠や

あたかも

是に大事の日

福助

今年四月廿六日は梨園社会に取りては如何

なる最上吉日にや井上伯爵の御館に於て催

させ玉ひし演劇を掛まくも賢き御あたりの

御覧する所となりしは実に前代未聞の榮譽

にして此挙より此道に光輝を添る事電

気の燈火も三舎を避くべし事は当時の紙

上に詳かなれば爰には略し現々弁慶に扮し義

経つねに粧よそほひたる團だん十じふ郎ろう福ふく助すけ両りやう優ゆうの俳はい句くを揚あげ

て読どく者しゃの興きやうに供くする事こととはなしぬ